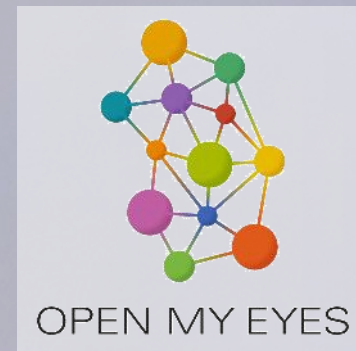




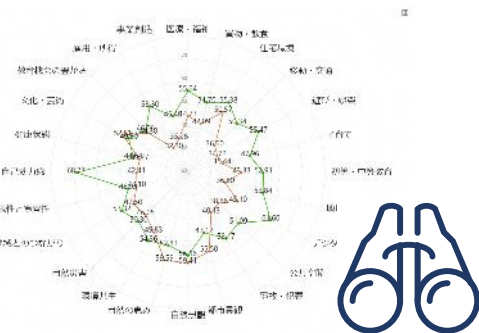
スマートシティ会津若松 LWCIワークショップ°実施報告

開催概要

生成AIを活用したワーク全体像

LWCIを活用し、会津若松市の現状と課題を把握。そして、それらの現状・課題を解決するためのソリューション案のアイデアをAIを活用して得ながら、最終的に一つに絞ったソリューションの提案書を作成した。

① 課題の特定 (45分)



LWCIデータを活用し、会津若松の現状を把握する

📊 ダッシュボード活用

年代×性別等
よりターゲットを特定した
現状・課題の把握に活用

② 課題の分析 (40分)

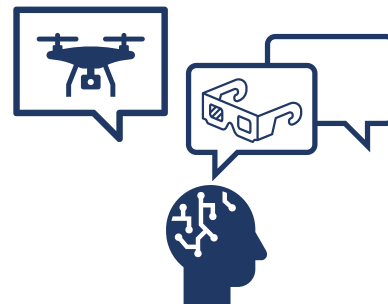


現状把握を踏まえて、日々の生活で感じる課題の要因や、課題による影響を洗い出します

🤖 生成AI活用

地方・雪国等
地域により特化した
課題を洗い出し

③ AIを使った解決案の探求 (30分)



AIを活用して会津若松市の課題を解決できるソリューション案のアイデアを得る

🤖 生成AI活用

ソリューション案出し＋
メリット・デメリット等をふまえた
案の絞り込みにも活用

④ ソリューションの提案書の作成 (40分)



選定したソリューション案のサービスのイメージを具体化するために、AIを活用してアイデアを得る

🤖 生成AI活用

ターゲット・利用シーン等の
提案書の具体化＋
発表原稿の作成にも活用

ワークショップの実施概要

前項の続き。

対象領域 /人数

- 想定領域 : 決済、行政、エネルギー、ヘルスケア
- 人数 : 25人（1領域あたり6～7人/チーム）
 - 各チーム共通：一般市民（数名）
 - チームごとに加える参加者：業界・団体の代表や影響力・発信力のある人、スマートシティ取組みの関係者、等（数名）

実施日時/場所 /アジェンダ

- 日時 : 2月15日13:00～18:00
- 場所 : スマートシティ AiCT 交流棟
- タイムテーブル
 - 挨拶・SCの取組み紹介（1時間弱）
 - WS（3時間）
 - 発表・講評（1時間）

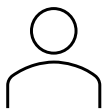
スタッフ

- メインファシリ : ACNスタッフ
- サブファシリ : 各WGメンバーから1名ずつ、ACNスタッフ

(参考) 参加者の内訳

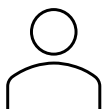
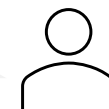
	WGメンバー	一般参加者
ヘルスケア	2	5
決済	2	3
行政	1	5
エネルギー	1	5
見学	0	2
合計	6	20

参加者からの声



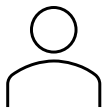
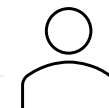
LWCIのダッシュボードから若者世代が何を求めているかがみえた

LWCIの主観と客観のデータの間で印象が異なる項目がいくつかあり、面白かった



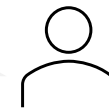
議論が行き詰まった時、ChatGPTを活用することで新たな意見やアイデアを提供してくれて、議論を進める助けとなった

生成AIを活用することで、自分では思い浮かばなかった、納得感のあるアイデアが短時間出て盛り上がった！



生成AIを身近に感じることができ、自分でもサービス企画できるイメージ沸いた

市民とスマートシティに携わる人の交流の機会がもっと増えてほしい



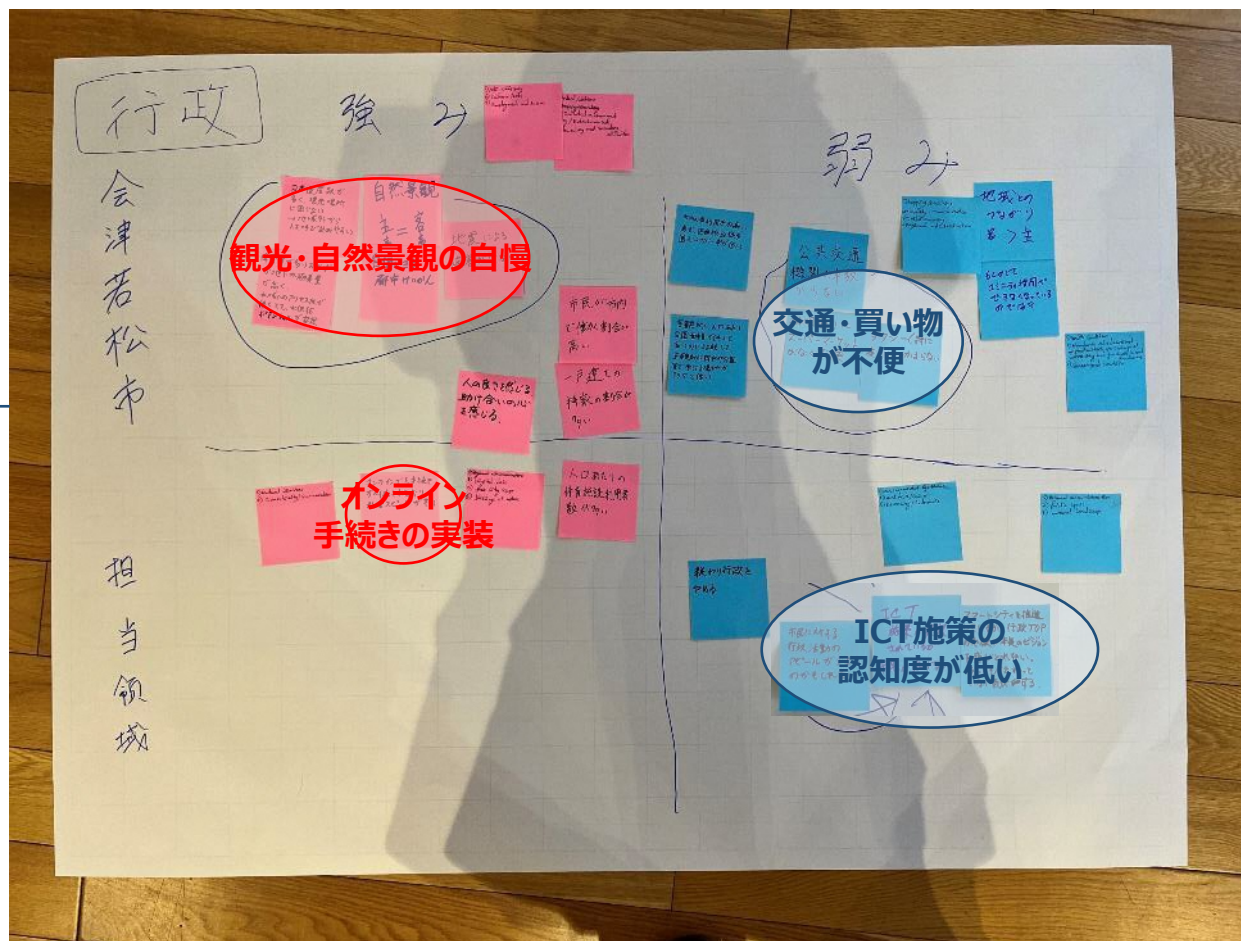
ワーク成果物

会津全体の強み

- 観光・自然景観が自慢

行政領域の強み

- オンライン手続きが実装されている
⇒処理のスピードも速い



会津全体の弱み

- 公共交通や買い物が不便

行政領域の弱み

- 行政活動のアピールが少ない・
行政トップの意欲や本気が伝わっていない
⇒ICT施策の認知度が低い

ICT施策の普及促進に向けた、認知度向上が課題



- ・ゲーミフィケーション

8

会津デジコインクエスト～タッチ一つで未来を動かす、会津のデジタル冒険が始まる！～

サービス概要

- このサービスは、会津若松市のデジタル行政サービスの利用を促進するプログラムです。利用者はサービスを使用することでポイントを獲得し、これらのポイントは「会津財布」で使用可能な会津コインに変換されます。会津コインは地元店舗での支払いに利用でき、市民のデジタルサービス利用を奨励すると同時に、地域経済の活性化に貢献します。

想定される利用者

- 市民全般

想定される利用シーン

- 「会津デジコインクエスト」は、会津若松市のデジタル行政サービスを楽しく探索し、利用することで報酬を得られるプラットフォームです。ユーザーはデジタルタスクをクリアすることで会津コインを獲得し、これを地元の店舗で使用できます。このプログラムは市民がデジタルサービスに親しみやすくなり、同時に地域経済への貢献を促します。ゲームのような体験を通じて、日常生活におけるデジタル行政サービスの利用を促進することを目指しています。
- 例 1：引っ越しの手続き、施設予約、住民票の取得
- 例 2：会津若松＋ログイン



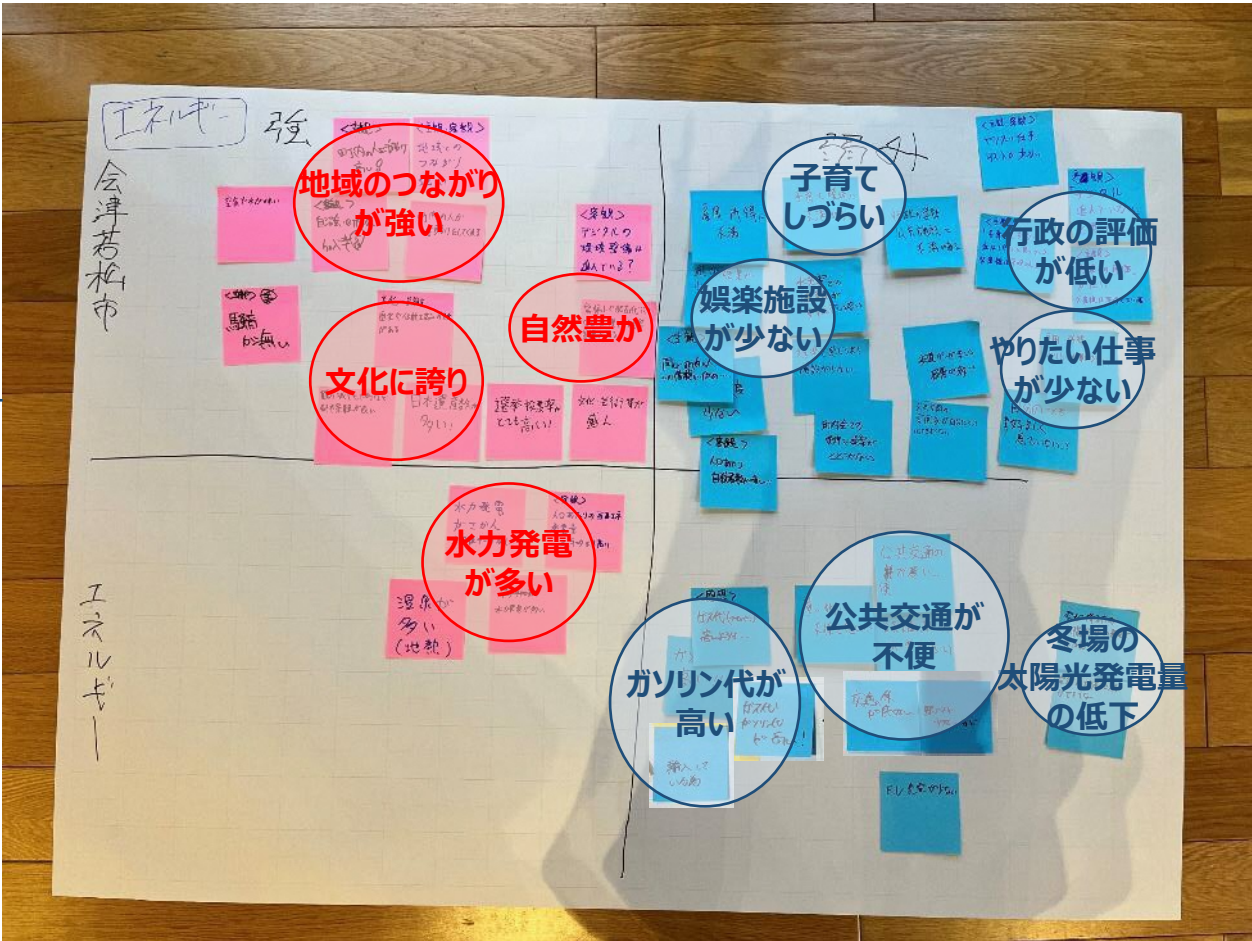


会津全体の強み

- 地域のつながりが強い
- 文化に誇り
- 自然が豊か

エネルギー領域の強み

- 水力発電が多い
⇒人口当たりの再生可能エネルギーの発電量が多い



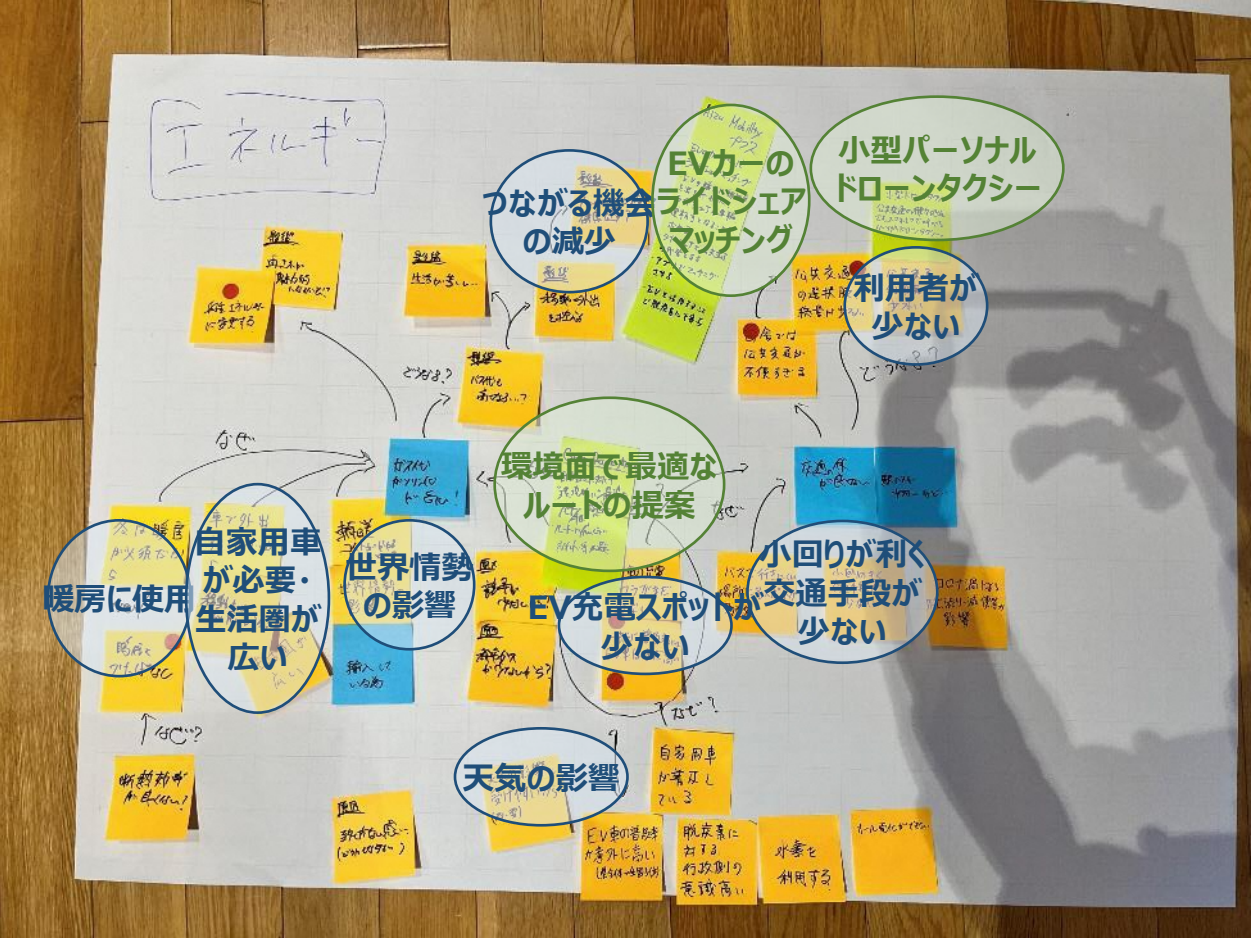
会津全体の弱み

- 娯楽施設が少ない
- 子育てしづらい
- 行政の評価が低い
- やりたい仕事が少ない

エネルギー領域の弱み

- 輸入しているため、ガソリン代が高い
- 公共交通が不便
⇒買い物等も不便に感じる
- 冬場は太陽光発電量が低下

ガソリン代の高騰や、公共交通のインフラ整備に課題



課題・要因

- 観光地等、小回りが利く交通手段が少ない
- 加えて、生活圏も広いことから、自家用車が必要
- EV車は充電スポットが少ない・天候に左右される等で普及が進まない

ソリューション案

- 小型パーソナルドローンタクシー
- EVカーのライドシェアマッチング
- 環境面で最適なルート提案

EVカーのライドシェアマッチング等、環境面に配慮した最適なルートを提案できるサービスに期待

Aizu Mobility Plus ～里山の風を感じながら、未来へ繋ぐスマートな旅～

サービス概要

- 「Aizu Mobility Plus」は、公共交通の利便性を向上させるためにEVのカープールとライドシェアマッチングのスマートフォンアプリです。EVの購入に補助金を出す代わりにライドシェアの運転手をしてもらうことを求め、アプリでマッチングをすることで脱炭素と公共交通の課題を解決します

想定される利用者

- 通勤・通学者：日々の通勤・通学で公共交通や自転車を利用する人々。
- 高齢者：移動手段が限られがちな高齢者でも、簡単に最適な移動手段を見つけられます。
- 観光客：地域内の移動をスムーズにし、観光体験を向上させるための情報を提供します。
- 環境意識の高い市民：日常の移動を通じて環境負荷を減らしたいと考えている

想定される利用シーン

- 通勤時のルート検索：天候や交通状況を考慮した最適な通勤ルートを提案。
- 週末のレジャー計画：家族や友人との外出時に、エコで楽しい移動手段を選びたい時。
- 観光：地域の隠れた名所やイベントに参加するための移動計画。
- エネルギー意識の向上：日々の移動を通じて、エネルギー消費を意識し、削減を図りたい時。

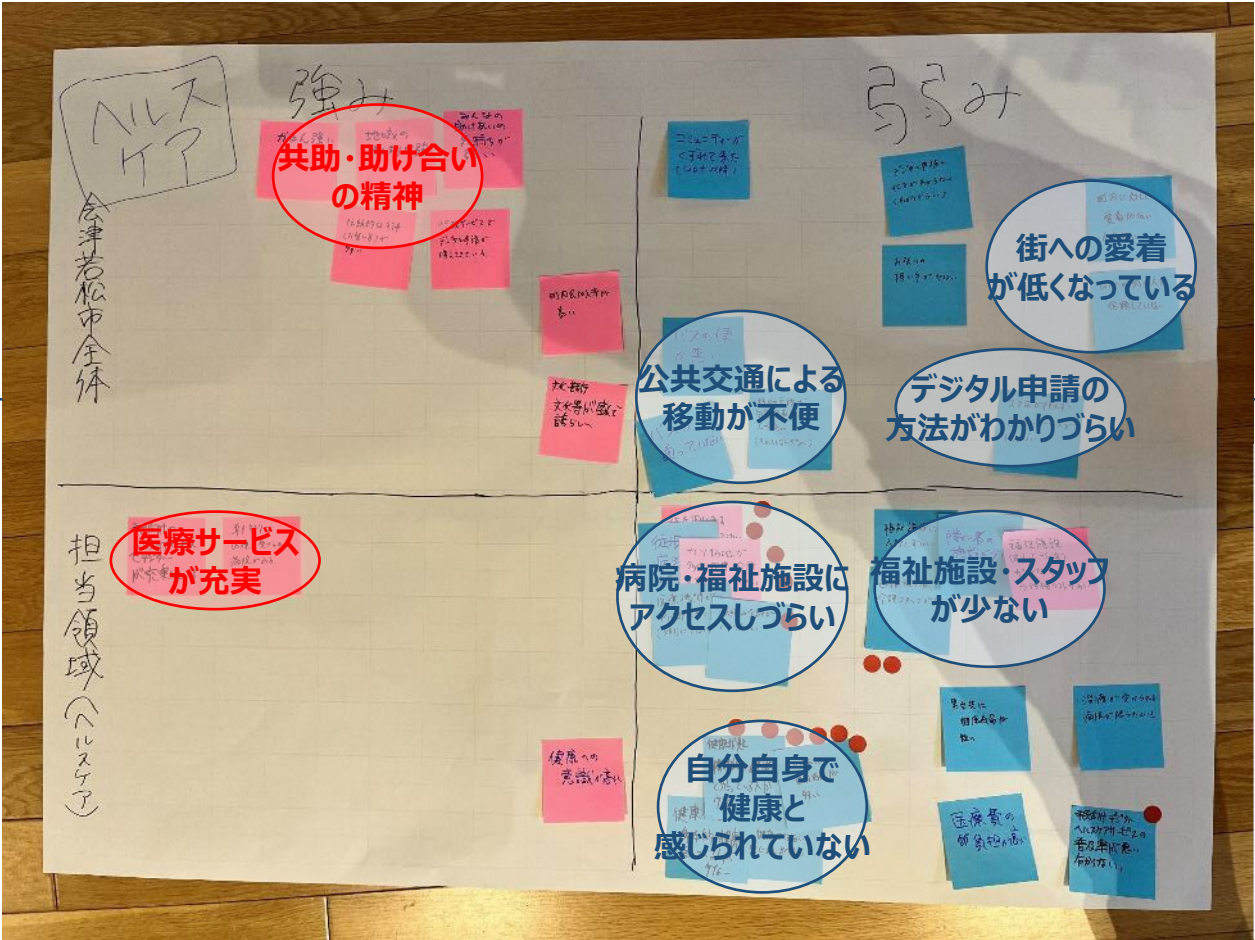


会津全体の強み

- 共助・助け合いの気持ちが強い

ヘルスケア領域の強み

- 医療サービスが充実



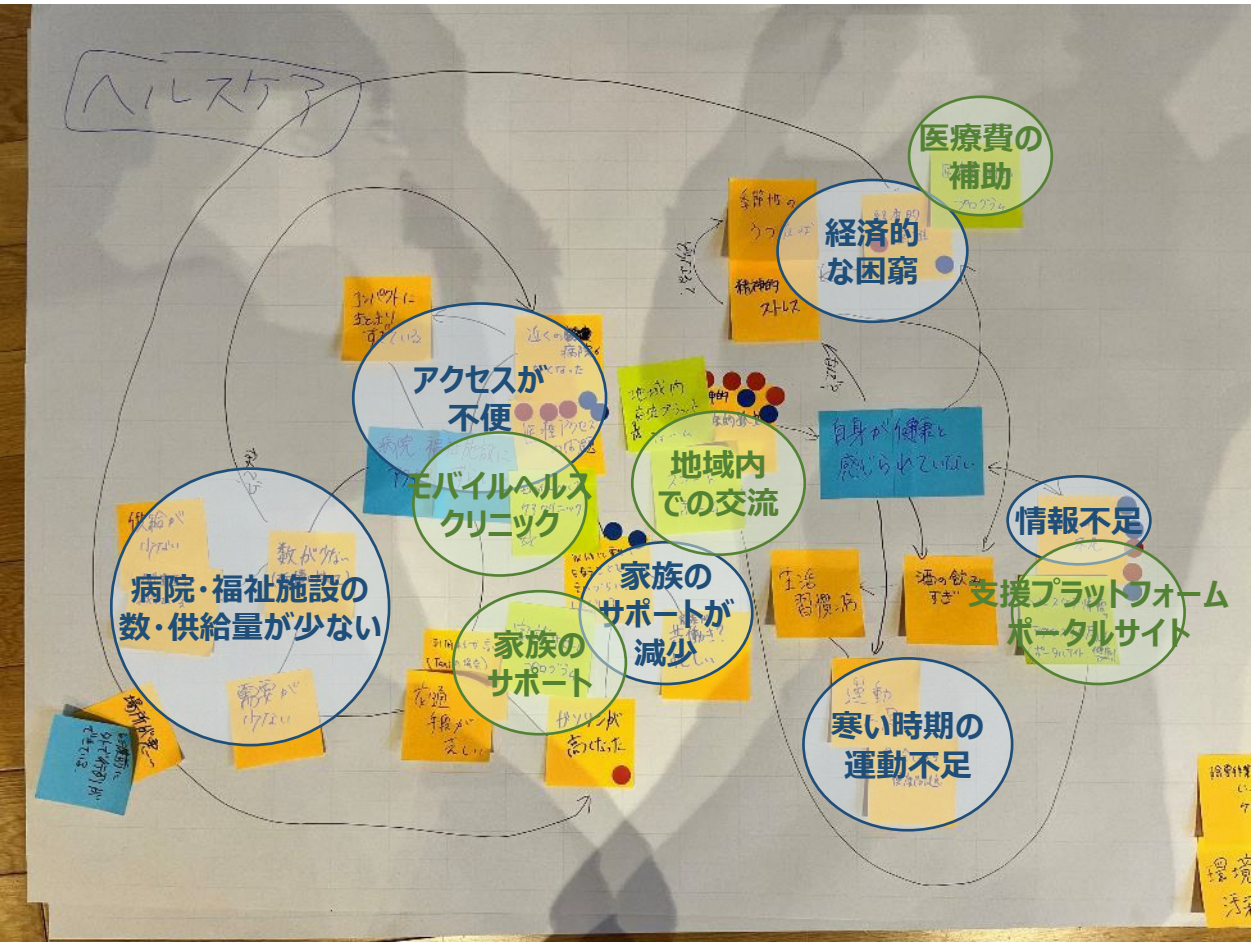
会津全体の弱み

- 公共交通による移動が不便
- 街への愛着が低くなっている
- デジタル申請の方法がわかりづらい

ヘルスケア領域の弱み

- 病院・福祉施設にアクセスしづらい
- 自分自身で健康と感じられていない
- 福祉施設・スタッフが少ない

自分自身で健康と感じられていないことや、病院・福祉施設へのアクセスのしづらさに課題



課題・要因

- 病院・福祉施設の数・供給量が少ない
- かつアクセスが不便な状況に加え、家族のサポートも減少
- 情報が不足

ソリューション案

- モバイルヘルスクリニック
- 支援のプラットフォーム（ポータルサイト）の整備や地域内での交流の促進

病院・福祉施設までのアクセスの課題解決や、情報共有・交流機会の創出が必要

えんむすびエイド ～絆を紡ぎ、心をつなぐ。会津で育む健康の輪～

サービス概要

- 会津若松市の地域コミュニティに根ざしたモバイルヘルスケアクリニックとコミュニティ支援プラットフォームを融合したサービスです。市民が健康で幸せな生活を送るために、定期健康診断や医療サポートを提供した上で、地域のつながりを深め、支援体制を構築します。

想定される利用者

- 高齢者：地域内で独居生活を送る高齢者や、定期的な健康チェックを必要とする高齢の住民
- 子育て家庭：小さな子どもを持つ家庭で、予防接種や子どもの健康相談を求める親。
- 若者・学生：健康意識が高い若者や、健康に関する知識や情報を求める学生。
- 地域活動家：地域の健康と福祉を向上させるために活動するボランティアやNPO関係者
- 働き世代：忙しい日常の中で、手軽に健康チェックを受けたいと考える働く男女。

想定される利用シーン

- 定期健康診断：モバイルクリニックを利用し、高齢者・子ども・労働世代が健康診断を受診
- 健康相談/カウンセリング：専門医療スタッフによる健康相談や心のケア、栄養相談など
- 地域健康イベント：フィットネスクラス、健康セミナー、予防医学に関するワークショップなど、地域コミュニティでの健康促進イベント。
- 緊急医療サービス：軽微なケガや急な体調不良に対応するための医療サービス。
- 地域コミュニティの場の提供：地域住民が集まり、健康や生活に関する情報交換を行うための場を提供。

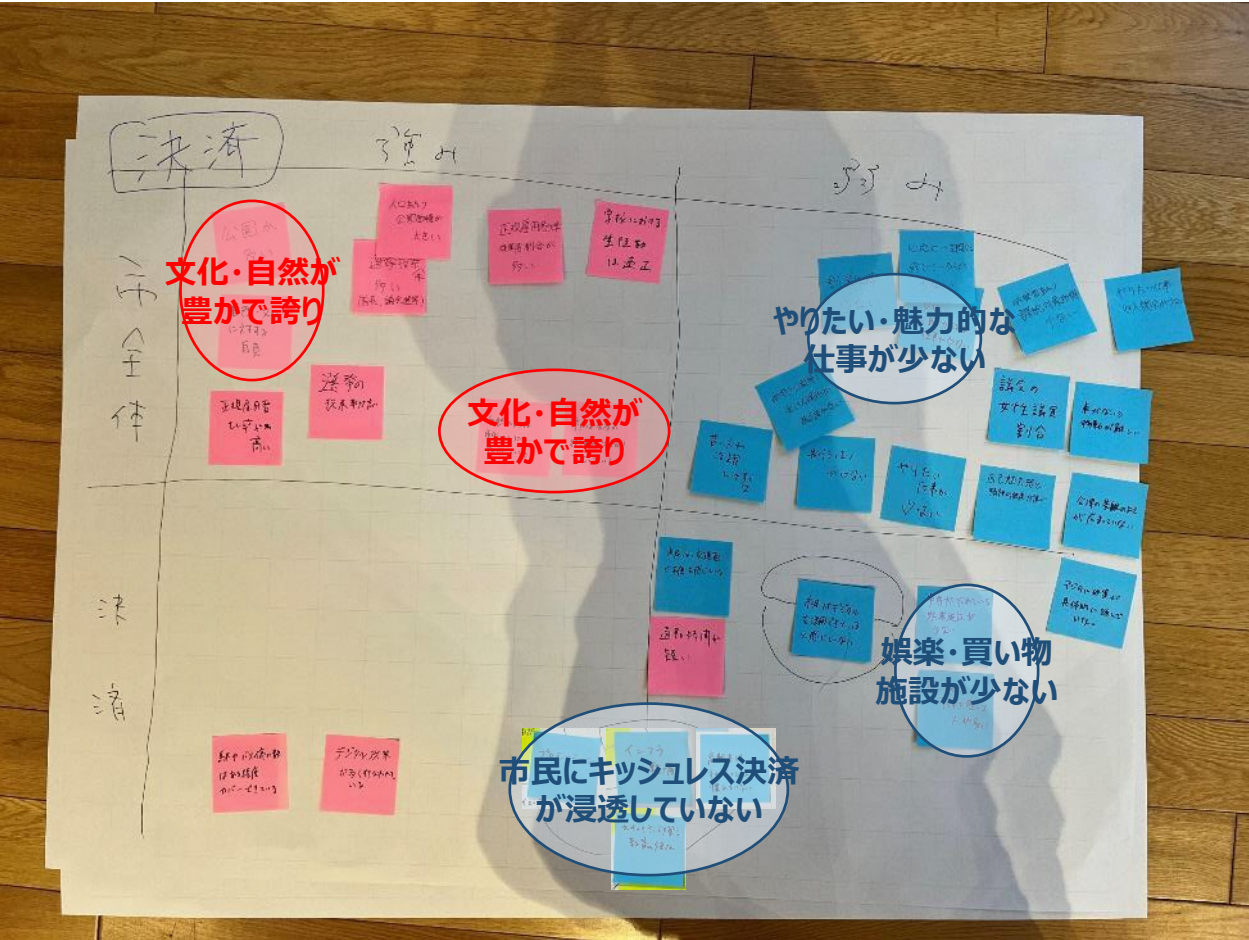


会津全体の強み

- 文化・自然景観が豊かで誇り

決済領域の強み

-



会津全体の弱み

- 創業比率が低く、やりたい・魅力的な仕事が少ない
⇒若い人の活躍機会が少ない

決済領域の弱み

- 娯楽・買い物施設が少ない
- インフラ整備やプロモーションが満足にできていないため、市民にキャッシュレス決済が普及していない

キャッシュレス決済の普及に向けたインフラ整備やプロモーションに課題



課題・要因

- ・ セキュリティ・プライバシーに対する懸念があり、インフラ整備・懸念の払しょくが必要
- ・ 店側のキャッシュレス決済の導入のハードルが高い
- ・ 市民（特に高齢者）が気軽に使い方を聞ける環境がない

ソリューション案

- ・ 世代を超えた交流の機会の創出
- ・ 友達紹介キャンペーンの導入

キャッシュレス決済の普及には、市民（特に高齢者）のデジタルリテラシーの向上が重要

牛丼でつなぐ、世代を超えたキャッシュレス体験

サービス概要

- 牛丼屋で大学生が高齢者にキャッシュレス決済の使い方を教える場を設ける。教えてもらった高齢者は、大学生に牛丼をおごってお礼をする。

想定される利用者

- デジタル技術に不慣れな地元の高齢者
- 地域の大学に通う学生ボランティア

想定される利用シーン

- 場所：地元の人気牛丼チェーン店または家族経営の小さな牛丼屋。
- 活動内容：
 - オリエンテーション：学生がまずキャッシュレス決済の基本概念と利点を簡潔に説明します。
 - デモンストレーション：学生がスマートフォンを使用して、キャッシュレス決済の具体的な操作方法を実演します。この際、QRコード決済やアプリを使った決済方法を中心に説明します。
 - 実践練習：高齢者が自分のデバイスを使用して、学生の指導のもと牛丼をキャッシュレス決済で購入して大学生におごります。
 - 質疑応答：練習の後、高齢者が疑問点を質問し、学生がそれに答える時間を設けます。



(参考) イベント実施風景

(参考) イベント実施風景 (1/2)



柏木様（会津若松市）のご挨拶



ワークの説明



ワーク風景（行政グループ）



ワーク風景（エネルギーグループ）

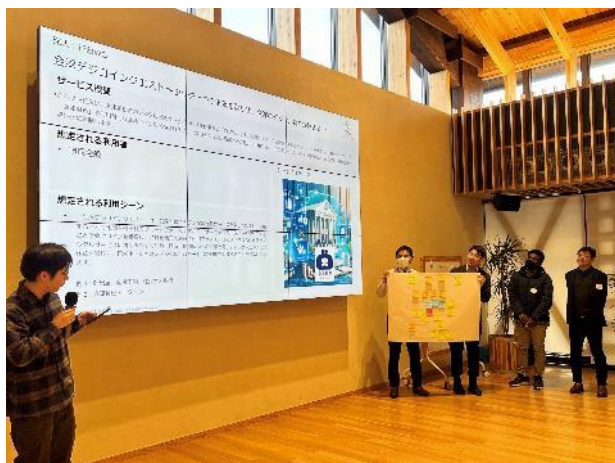


ワーク風景（決済グループ）



ワーク風景（ヘルスケアグループ）

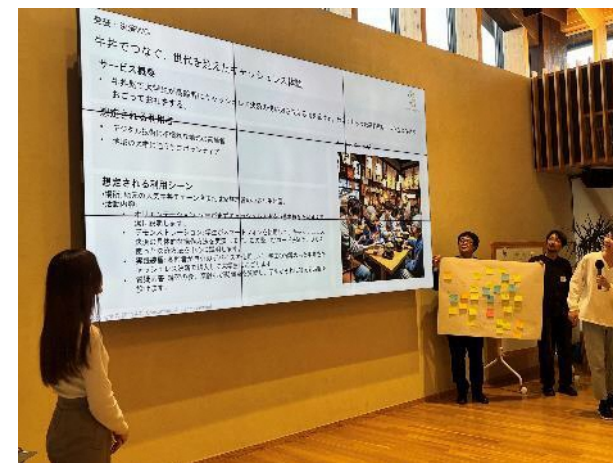
(参考) イベント実施風景 (2/2)



発表 (行政グループ)



発表 (エネルギーグループ)



発表 (決済グループ)



発表 (ヘルスケアグループ)



サービス・取組み紹介



サービス・取組み紹介